

令和元年度 市の決算

●問い合わせ先 財政課 ☎(248)1667

市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ、市の財政が運営されているのか、市の財政状況について令和元年度決算の概要を地方財政状況調査表(決算統計)に基づいてお知らせします。

決算統計は総務省の基準により決算を分析したもので、後期高齢者医療広域連合へ派遣している職員の人件費相当分を除いています。

決算額は、平成30年度中に事業が完了せずに繰り越した財源を含めた額です。黒石防災拠点センター建設工事の都市防災総合推進事業などになります。

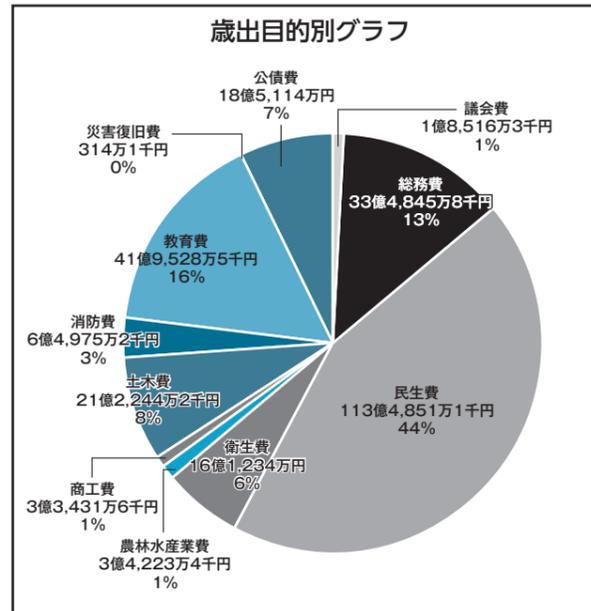
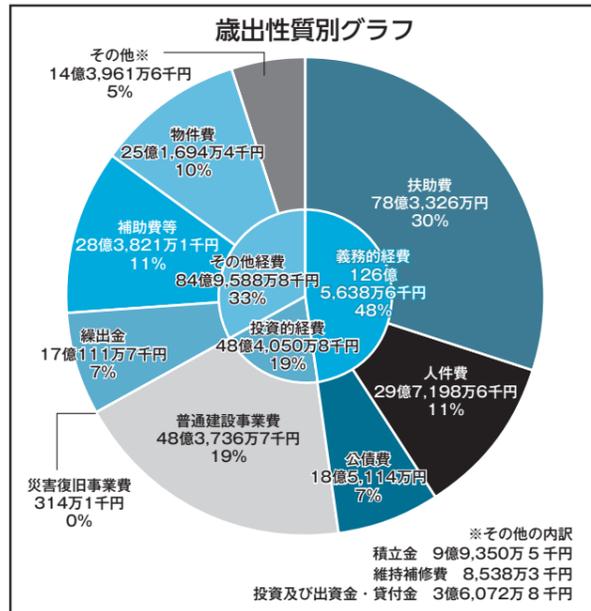
※令和元年度一般会計決算書では歳入268億9,098万円、歳出259億9,278万円となります。

市の貯金と借金 (令和元年度末)

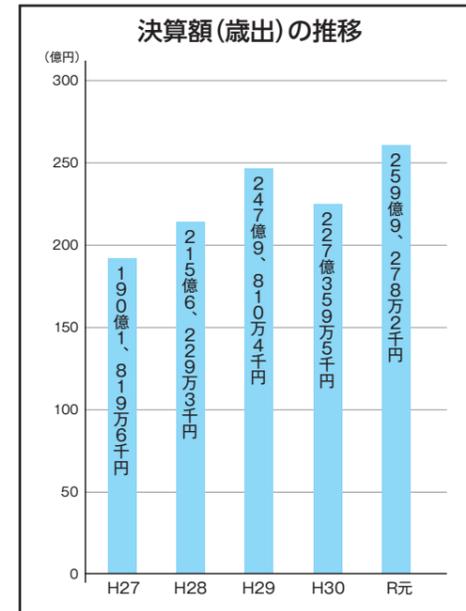
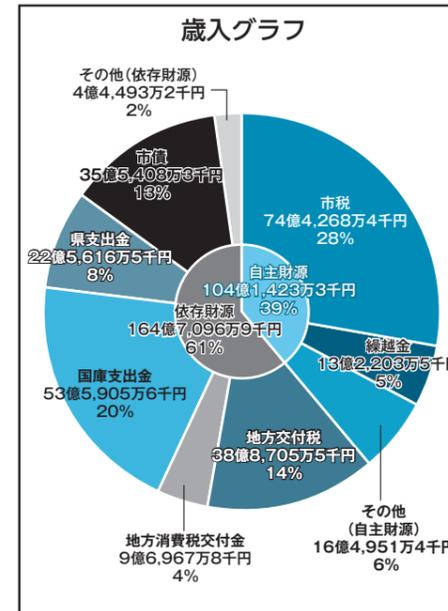
(貯金) 財政調整基金	35億7,793万3千円		
減債基金	9億8,639万1千円		
特定目的基金	32億5,850万7千円		
合計	78億2,283万1千円	………市民1人当たり	12万4,752円
(借金) 地方債(一般会計)	213億5,548万6千円	………市民1人当たり	34万560円
地方債(企業会計も含む)	322億6,947万2千円	………市民1人当たり	51万4,607円

※人口は令和2年3月末の人口(62,707人)で算出しています。

一般会計の歳出 259億9,278万2千円



一般会計の歳入 268億8,520万2千円



収入の状況

一般会計の歳入は268億8,520万2千円で、平成30年度に比べて28億5,957万2千円(11.9%)増えています。これは、市税、地方特例交付金や国庫支出金、地方債が増加したことが主な要因です。市民の皆さんが納めた市税(市民税や固定資産税、軽自動車税など)は、令和元年度決算で歳入の約28%を占めています。平成30年度と比較して、金額で1億2,397万2千円増えました。



支出の状況

一般会計の歳出は259億9,278万2千円で、平成30年度に比べて32億8,918万7千円(14.5%)増えています。これは、合志楓の森小・中学校建設事業費、黒石防災拠点センター建設工事費、教育保育施設給付費、区画整理事業費の増が主な要因です。

また、市民一人当たり、約41万5千円が支出されたこととなります。

一般会計の決算状況・実質収支

実質収支額は7億6,139万4千円で、平成30年度に比べて3億7,877万9千円の減となりました。実質収支額7億6,139万4千円は令和2年度予算へ繰り越しました。

歳入総額 268億8,520万2千円	歳出総額 259億9,278万2千円	差引額(形式収支額) 8億9,242万円
差引総額(形式収支額) 8億9,242万円	翌年度へ繰り越すべき財源※ 1億3,102万6千円	実質収支額 7億6,139万4千円

※令和元年度中に事業が完了せず、令和2年度に繰り越す財源

特別会計の実質収支額

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	64億4,883万7千円	64億4,351万8千円	531万9千円
後期高齢者医療特別会計	5億9,452万9千円	5億9,312万3千円	140万6千円
介護保険特別会計	46億4,604万3千円	45億1,550万4千円	1億3,053万9千円
工業団地整備事業特別会計	4億1,273万6千円	4億1,273万円	6千円